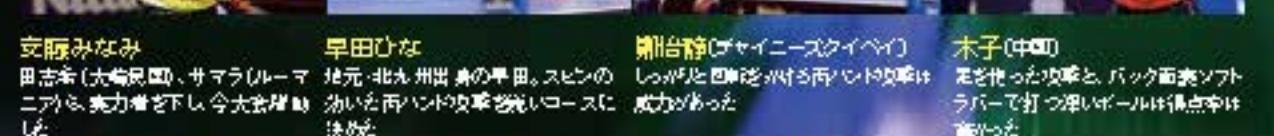


LION卓球ジャパンオープン荻村杯北九州大会が、6月6日~10日まで、北九州市立総合体育館で行われた。男子シングルスは、現在熱い炎を放す勢いのある、張本智和が馬龍(中国)・李尚洙(大韓民国)に勝利し、決勝に進むと、ロンドン五輪チャンピオンの張繼科(中国)をゲームオールで下し、優勝を飾った。バックハンドの打球は走轟る様に、今回試合中の攻撃転換、サービスの組み立てが良かった。

女子シングルスは、伊藤美誠が優勝。抜群の反射神經で、中国選手の強打をブロッケーションすると、得意の叩きつけるようなフォアハンド攻撃とドライブを組み合わせ、決勝では、ここ最近熱い王曼昱(中国)に勝利し、初優勝を飾った。

日本選手は、他元の声援を前に躍動。特に男女シングルスは日本選手がアベック優勝ということで、大きな盛り上がりを見せた。



Seamaster 2018 ITTF World Tour 6月6日~10日 北九州市立総合体育館

LION JAPAN OPEN, KITAKYUSHU

Sing les

男子シングルス 優勝

張本智和(中国)
相手が何を打つか見つけ、その打球を合いを削り、相手へ途中、強めの打球をかけ、裏面も見られなく、美しい打球をみせた



李尚洙(大韓民国)
フォアハンドを活かした強力なフォアハンド攻撃で活躍。しかし张本の早さに驚いた



莊智淵(チャイニーズタイペイ)
スマイルで相手を驚かす。ゲームカウント4対2で勝利すると、喜びを金束で表現した



木造薫人(左)・張本智和
中国から生まれながら、台上的の外な力やコース感覚を磨いた



「世界選手権のリベンジのつもりで大会に挑みました」と気合いの入ったプレーをみせた



平野美宇
高い打球での両ハンド攻撃を実現。抜かれたボールも威力があり、美しいコースに決まった



石川佳純
ドライブをコーナーに打ちかかるなど、両ハンド攻撃には威力があり、ラリー連続でスマッシュを繰り出しながらも、力強いフォアハンド攻撃もあった



吉村真晴(右)・周愷�(中国)
中国から生まれながら、台上的の外な力やコース感覚を磨いた



北九州市制
55周年記念

男子シングルス 優勝
張本智和

Men's

Doubles

男子ダブルス 優勝

馬龍(中国)
相手の威力を封じる攻撃を展開。しかし相手が上回らず、ミスが目立った



松平健太
相手からのギールカットで、切れよく抜群の台上処理と、安定した両ハンド攻撃の両面を発揮した



上田仁
コンビネーションが高く、相手の高いプレーとドライブの威力は大会でもトップクラス。李尚洙(右)・張本智和(大韓民国)との距離が近く、精神での隙が詰まっていた

MIXED

混合ダブルス 優勝

吉村真晴(右)
石川佳純攻撃的なプレーとサービスからの攻撃も良かった



梁靖崑(左)・陳幸同(中国)
中国から生まれながら、台上的の外な力やコース感覚を磨いた

